

<機運が熟し、塾生たちから生まれた潮流>

## 早稲田塾とミレニアム・プロミスが マラリア撲滅で世界初の社会貢献モデルを開始

早稲田塾（代表：相川秀希、本部：千代田区）と、ミレニアム・プロミス（創設者ジェフリー・サックス Jeffrey D.Sachs、本部：ニューヨーク）は9月21日、ニューヨーク国連総会のミレニアム開発目標（MDGs）達成に向けたパートナーズ会議にて、マラリア撲滅における新しい取り組みの調印を行いました。これは、早稲田塾に在籍する高校生が塾で学習した時間をポイント化し、対応金額をミレニアム・プロミスに寄付するという、世界初の社会貢献モデル。塾生が学習すればするほど、その頑張りが社会貢献につながる仕組みです。



創設者サックス氏との調印式

早稲田塾からの寄付は、ミレニアム・プロミスが国連開発計画（UNDP）と進めているマラリア撲滅活動のために活用されます。支援活動の状況は、ミレニアム・プロミスが、早稲田塾に対して定期的に報告。今後は現場への塾生代表の派遣や、支援活動の責任者による特別授業などの取り組みも予定しています。

調印式は、早稲田塾 相川秀希代表と、コロンビア大学地球研究所、国連事務総長特別顧問などを務める、ジェフリー・サックス氏がとり行いました。その他、ミレニアム・プロミス CEOジョン・マッカーサー氏と前エチオピア農業大臣、ベレイ・ベガシヨール氏とでパートナーシップを推進していきます。



CEOのジョン・マッカーサー氏(右)と前エチオピア農業大臣、ベガシヨール氏

早稲田塾は、将来を担う人財育成の理念に立脚し、リーダーの育成を目指しています。すでに、「社会起業家育成」「国際開発・援助」「環境問題」などを学ぶ、他に類のないく塾育プログラム>が開講されており、受講者から、この活動を支援し、普及させたいという声が多くあがっています。今回のミレニアム・プロミスとのコラボレーションは、グローバルアジェンダ（国際的な課題）解決のために、多くの早稲田塾生が参加する実践の場となる予定です。塾生の問題意識とビジョンが、どういったアクションにつながっていくのか？ その活躍に注目が集まっています。

**【早稲田塾とは】** …………… 1979年に誕生した「現役高校生のための塾」のパイオニア。現在、東京・神奈川に15校舎、および3校の専門指導館を展開する。次代を切り拓くリーダー人財の育成を教育理念に掲げ、単なる大学合格ではなく「一生モノの学力」を鍛える教育活動を実践。個々の可能性を広げる進路発見指導、大学教授や各界の第一人者と共同で創るプログラム、高い水準のカリキュラムなどが評価され、オリコンによる「顧客満足度の高い塾・予備校ランキング」では4年連続第1位を獲得している。

**【ミレニアム・プロミスとは】** 2005年4月、コロンビア大学地球研究所長であり国際連合事務総長特別顧問のジェフリー・サックスと、レイモンド・チェンバース（現・国連事務総長マラリア特使）が、2025年までに世界から極度の貧困を無くすというビジョンのもとに設立したNPO。ジェフリー・サックスは、『TIME』誌の「世界で最も影響力のある100人」に連続してノミネートされている唯一の学者でもある。

Home About Us Our Work Knowledge Center Community News & Events Search:

HEALTH & NUTRITION AGRICULTURE & ENVIRONMENT GENDER EQUALITY EDUCATION INFRASTRUCTURE BUSINESS DEVELOPMENT

Now Available!  
Key Data Towards Achieving  
Millennium Development Goals

"Harvests of Development  
in Rural Africa"  
The Millennium Villages After Three Years

Click here to read results from five  
Millennium Villages

Millennium Promise - Home Page <<http://www.millenniumpromise.org/index.php>>